

留学報告書 II (2024 年度留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	慶應義塾中等部 2 年生
留学先校名	Shrewsbury School
留学期間	2024 年 9 月から 2025 年 6 月まで

留学を振り返って

留学に行く前に期待していたこと、心配していたことはありましたか。実際に行ってどのように変わりましたか。 特に心配事はなく、新しい生活を心待ちにしていました。また、イギリスでしかできない多種多様なアクティビティに参加出来ることを楽しみにしていました。
クラブ活動や課外活動など、学業以外の活動について教えてください。 -Performing Arts: Ballet や Contemporary dance、Drama をほぼ毎日練習し、Dance Showcase や Junior Play などの発表会に参加しました。 -Choir: 週に二回の練習をし、日曜日の全校集まつの教会や学校外の教会で歌いました。
ルームメイトはどのような方でしたか？(1 人部屋だった場合は、同じ寮の友人について教えてください。) 部屋は四人部屋で、半タームに一度部屋替えがありました。自分のスペースは好きに使いつつ、他の人のスペースには干渉しないというルールが寮にあったため、勉強中や休憩中はお互いに気を使いながらも、ルームメイトみんなで深夜カップ麺パーティーやおしゃべりを楽しんだりしていました。
勉強の進め方や進学や将来について、アドバイザーや学校の先生と話す機会がありましたか。どのようなアドバイスをいただきましたか。 木曜日の朝に毎週三十分ほど Tutor period という Grove 寮の Year 9 専属の先生と話す機会がありました。アドバイスをいただくというよりは、自分で自分自身を振り返って次の週からそれを活かすことの方に重点が置いてありました。また、Commendation という授業や宿題で良い成績を残した時に先生方にいただける称号があり、その数を寮ごとに競っているため、どのようにして他の寮に勝つかの作戦会議をしたりしていました。
短期・長期休暇はどのように過ごしましたか？ 私は日本には一度も帰らずにガーディアンサービスの提供会社に紹介していただいたホストファミリーの家で、クリスマスやイースターを含めた全ての休暇を過ごしました。特にホストファミリーの子供とはお互いに年も近く、一人っ子ということもあり、今でも連絡を取り合っています。

学業について

各授業について授業の内容・進め方・課題・試験・日本との比較などについて触れながら記入してください。 授業の進め方で特に興味深いものがあれば、具体的に教えてください。
授業は大まかに Humanities、理系、言語に分かれており、Philosophy、PE、Art などを含む Humanities は 7 つのセットに分かれています。セットのチェンジはなく、その他の Mathematics、Sciences、French、Latin などは能力順に毎タームごとにセットチェンジがありました。私は Humanities では下の方のセットにいたので、一クラスの人数が少なく、十三人でした。逆に理系や Latin は Exams で頑張れば set 1 に入っていたので、それが私のモチベーションだったりもしました。 私が興味深いと思った授業を三つ紹介します。まず、English as an Additional Language (EAL)です。この授業では Grammer や Vocabulary フォーカスして英語能力を向上させるのですが、授業の殆どが essay writing でした。特に descriptive writing に metaphor や alliteration を入れるのには苦戦して、初めはなかなかできませんでしたが、EAL を頑張ることで他教科の成績も伸びるのが嬉しかったです。二つ目は、Latin です。私は初め、Latin の経験がないため、Beginner set にいました。授業は最初から Latin の text や

speech の翻訳でした。Vocabulary や Grammer よりも先に翻訳をすることで Latin に慣れ、少しずつ意味を理解することができました。この練習方法で勉強し、試験で良い成績を取ることができたため、クリスマス後からは Top set になることができました。そこでは、Accusative case や Dative case の endings や文の組み立て方、実際の GCSE の過去問などを解いて Latin をより深く学ぶことができました。Latin は英語や他のヨーロッパ言語の元なので、French の勉強にも役立てられ、最後の方は Italian も読めることが授業で実感できました。三つめは、Mathematics です。指定のカリキュラムもあるのですが、set 1 にいたため、殆どの授業が Proof や Mathes competition でした。例えば、球体の体積の公式の理由や Pythagorean theorem の説明を三授業分かけて説明したりなどです。Competition では、Presentation competition や Individual Mathes Challenge などがあり、National Mathes Trust の Grey kangaroo (individual) と Purple Comet (team) ではそれぞれ Gold (Best of School) と英国で二位をいただきました。

また、試験に選択問題はなく、六から十二点マーカーの記述形式がほとんどだった所も大きな違いで、勉強法をただ暗記ではなく Summary などを書いて理解するように変えることが大切でした。そのため、試験勉強法にも違いがあり、例えば Philosophy の授業内ではまとめポスターを作ることが多く、arguments for and against でベン図を描いて情報を整理したりしました。更に、授業中や試験勉強に PC を使うことが多く、Word document の宿題やオンラインポスター作りが主要でした。

今後の派遣留学生へのアドバイス

塾内選考前にどのような準備をしていましたか。

特別な準備は特にありませんが、部活や学校外の学業以外の部分も幅広くチャレンジしてみることが大切だと思います。

渡航前に日本で学習しておいた方が良かったことや、用意しておいた方が良かったことがあれば教えてください。

英国の気候はかなり日本とは違い、私の場合は 10 月に学校で雪が降ったこともあったため、防寒具は早くから準備するべきです。

また、日本で大好きなお菓子やカップ麺がある場合は、Kitchen Hall のご飯がおいしくなかったり co-curricular の活動で夕食をとれなかったりするので、沢山持っていけると便利です。私は日本に帰らなかったなので、両親に定期的に送ってもらっていました。

